



送信者: [REDACTED] / 中部電力
[REDACTED]

宛先 [REDACTED]

cc

日付: 2008/03/26 10:15

件名 【ご連絡】 [REDACTED] 先生のコメントへの対応について

原子力安全・保安院 名倉審査官 殿

中部電力の [REDACTED] です。お世話になります。

24日(月)にお話のありました [REDACTED] 先生からのコメントについては、以下のとおり対応したいと思っております。

- ①御前崎海脚東部の断層帯ほかの個別の断層セグメントの水位波形について
WG資料には、断層帯自体の水位波形も記載していませんので、個別の断層セグメントの水位波形についてもWG資料には記載しない方針です。
コメントが出された場合には口頭で対応し、必要に応じて次回以降に波形をお見せする方針です。
なお、個別セグメントの水位波形については、現在確認中ですが、以下の②、③の対応を優先しているため少し時間がかかりますので、ご了承願います。
- ②高橋ほか(1992)における水位波形について
水位波形を作成中ですが、高橋ほか(1992)のみ波形を追記すると違和感がありますので、藤井ほか(1998)および高橋ほか(1999)についても波形を追記する予定です。ただし、かなりの物量になるため、間に合わない場合には、コメントをいただき、口頭で回答し、次回以降に波形を追記させていただく方針です。
- ③藤井ほか(1998)のマニング則について
最大底面せん断力については、データが残っておらず再計算が必要となるためWG資料には間に合わないと思われまます。したがって、代表地点における底面せん断力の時系列を追記する方針です。ただし、2つの摩擦速度について作成するため、②と同様に間に合わない場合には、コメントをいただき、口頭で回答し、次回以降に波形を追記させていただく方針です。

②、③については、WG資料に間に合えば追記とことになりませんがご了承願います。

[REDACTED]
中部電力株式会社 発電本部 土木建築部
原子力土建グループ
〒461-8680 名古屋市東区東新町1番地
PHS [REDACTED]
TEL [REDACTED]
FAX [REDACTED]
E-mail: [REDACTED]
